
目次

【01】新理事長挨拶

【02】事業報告

- オリオン寮ウェルカムパーティーの開催
- 外国人のための「一日インフォメーションサービス」開催
- 平成26年度 コミュニティ通訳ボランティア研修について
- 国際理解教育の外国人サポーター研修について

【03】教育実習生紹介

- OFIXインターン プリシリア マハラニ

【04】大阪府外国人情報コーナー

- 平成26年度 相談員・通訳者スキルアップ研修について

【05】市町村国際交流協会コーナー

- とんぼの風 - (特活)とんだばやし国際交流協会
とんだばやし国際交流協会理事 金 和子

【06】JICAボランティア活動報告

- 世界で活躍する大阪人
青年海外協力隊 (平成23年度3次隊、ベナン、青少年活動)
三条 知奈美

【01】新理事長挨拶

- 就任あいさつ (公財)大阪府国際交流財団理事長 堂本佳秀

去る6月26日の第2回財団理事会で理事長に選任されました堂本です。前任の芝池理事長には、能力、キャリアとも遠く（はるか）に及びませんが、精一杯努力し、職責を全うしてまいりますので、よろしく願いいたします。

今年度は、大阪府国際化戦略アクションプログラム及び財団中期経営計画3か年の最終年度にあたり、財団としても具体的なアウトプットを出してまいりますとともに、次期計画の策定に向けた作業を急いでおります。とりわけ、財団の将来を見据え、現在、市町村の外国人相談窓口の拡充に向けた調査、検討会の立ち上げ等を進めております。関係市におかれましてはどうぞご支援、ご協力をお願いいたします。

グローバル化の波は、年々高くなってきており、この国のあり様を左右する大きな時代要素となつてきております。こうしたなか、外国人の受け入れ環境の整備といった地道な国際交流事業は、現代社会のインフラ整備との認識に立って、今後とも着実な歩みを進めてまいりたいと考えております。

なお、この任期から、私が従事しておりました常務理事のポストが見直しになり、理事長1人体制となります。財団として、これまでのような対応ができない部分が出てまいりますので、どうぞご理解、ご了解をお願い申し上げます。

【02】事業報告

- オリオン寮ウェルカムパーティーの開催

5月10日大阪府堺留学生会館オリオン寮にて地域交流会（ウェルカムパーティー）を開催しました。オリオン寮生をはじめ東上野芝町2丁目自治会や健朗会の方々約60名が参加しました。今回は、4月から新しくチューターとなった2人から、地域交流会の感想について紹介します。

大阪府立大学 工学研究科 電気・情報系専攻 M1
グエン レー アン

今回は初めてウェルカムパーティーの企画に携わったので、最初はこういうふうによればいいのか不安でいっぱいでした。とりあえず自分のできることを精一杯やろうと思って取り組みました。当日は、たくさんのお新入寮生だけでなく、近所の方々にも参加していただき、楽しいウエ

ルカムパーティを開催することができました。パーティでは交流を深めるだけではなく、日本の文化を体験する企画も行いました。

小泉流名取岸本世都子さんの日本舞踊の披露や吉田呉服店の吉田和香子さんが希望者に着物の着付けをしてくださったりと、多くの寮生や参加者に楽しんでもらえたと思います。

このパーティを通して、様々な人が楽しく交流出来た様子を見ることが出来て、企画した甲斐があったと感じました。またこのような楽しいパーティができればと思います。

大阪府立大学 工学部 機械工学科 4年生 長野 将吾
今回は私とアンさんでの企画で、着物の着付けコーナー、ビンゴゲームに工夫をする等をして参加された方々に盛り上がりただけかと思えます。入居したばかりの皆さんもこのパーティを機に段々と寮に馴染めてきたことが寮の生活を通じて感じられ、たいへんうれしく思っております。これからは、寮生の皆さんの生活に関わるトラブルを解決するサポーターとして関わるとともにイベントの企画を通してリーダーとしての役割も果たしていきたいと考えております。

■ 外国人のための「一日インフォメーションサービス」開催

在住外国人のなかには、日本語が十分話せない、または理解できないため、日常生活で様々な不便、不安を感じている人が多くおられます。こうした外国人の方々が大阪で快適に、安心して暮らせるように、母語で、法律、人権、出入国・在留、労働、職業、保険、年金、税金、医療、進学、子育て、生活相談等の専門分野に関わる問題をワンストップで相談できる機会を提供するため、23回目の「一日インフォメーションサービス」を6月29日（日）に大阪国際交流センターで開催しました。102名の相談者が来場され、167件の相談をお受けしました。出入国・在留に関する相談がおおよそ40件と一番多く、次いで、職業・年金等に関する相談でした。OFIXが担当した生活相談ブースには運転免許の切り替え、住宅の購入に関する質問など多岐にわたる相談が10件寄せられました。相談員・通訳者スキルアップ研修を受講されたOFIX語学ボランティアをはじめとする9言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、インドネシア語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語）の通訳ボランティアの方々に相談者と各機関の専門家との意思疎通をサポートしていただきました。来場者からは「通訳のサポートがとてもよく、たいへん満足した」「悩んでいたこと、困っていたことがすべて解決した」との声が寄せられ、好評のうちに終了しました。

■平成26年度 コミュニティ通訳ボランティア研修について

大阪府に在住されている外国人の方々が安心して暮らせるように、外国人の方と行政のコミュニケーションの橋渡しをするコミュニティ通訳ボランティアの養成を目的とした研修を5月21日（水）・23日（金）の二日間に渡って実施し、参加者は6言語23名となりました。

当研修は平成23年度より毎年実施していますが、今年度はプログラムの一部を改訂し、コミュニティ通訳ボランティアの心構え～OFIXからお願いしたいこと～と題して、活動に対する心がけや注意すべき点をケーススタディ方式で職員とともに確認したり、大阪府外国人情報コーナーの紹介をはじめ、外国人相談に関する講義を組み込んだりと、当財団でのコミュニティ通訳ボランティア活動により必要とされる事柄を組み込みました。

参加者から寄せられたコメントは次のとおりです。

「通訳者にとって守秘義務は基本中の基本だと思っていましたが、国籍や言語が本人を特定する場合があるということは、完全な盲点でした。ロールプレイでは、あらためて背景知識の有無が通訳のクオリティーを左右するものだと実感できました。また、訳出した後で、その訳についてアドバイスをしていただき、たいへん勉強になりました。」

「印象深かったのは、フィリピン語の聞き取りです。全く知らない言語とはいえ、自分の知っている言語知識から類推できる単語があり、また様々な知識を蓄えておくことで、話されている内容に、より確実にアプローチできることを体感しました。その後講義を受けた在留資格についての知識は、外国人相談での通訳者として欠かせないものなので、とても意義のある講義でした。」

「高校入試制度、母子保健についての講義はそれぞれ在日外国人にとってはたいへん問題の多いテーマでしたので、参加者からの質問も数多く、時間が足りないくらいでした。今回の研修を通じて、ボランティア通訳の存在意義や、大阪に住む外国人の方々の現状をよりよく理解できたのと同時に、今後は彼らが少しでも快適に生活でき、相互理解が一段と進むように、ボランティア活動に役立てていきたいと思いました。」

■ 国際理解教育の外国人サポーター研修について

OFIXでは、国際理解教育外国人サポーター派遣事業を行っています。この事業は、国際理解教育の促進に寄与することを目的として、小・中・高等学校等から依頼を受け、登録している外国人サポーターを派遣して、母国の文化や歴史等について紹介しています。

5月31日にはマイドームおおさかで派遣する新しいサポーターのための研修を行いました。研修には中国、台湾、韓国、ベトナムなどからの留学生15名が参加しました。研修会に参加した董春祉さんは国際理解教育への関心とサポーター研修について語ってくれました。

董 春祉 大阪大学工学研究科機械工学M2

私は大学時代から日中の文化交流に力を入れています。例えば、大阪大学中国人留学生学友会で、企画実行係として、日中友好のためのボランティア活動に積極的に参加していました。また、中国語の講師として、中国語だけではなく、中国の祭りや食文化、習慣など様々なことを紹介しました。したがって、国際理解教育に興味を持っています。

今までは、大人を対象に話したりしていましたが、このような児童や生徒を対象とした機会はありませんでした。ぜひ、日本の若い人に中国を理解してもらいたいので、外国人サポーターに登録しました。サポーター事業に参加している中国人は多いですが、自分の出身地である東北地域には、地域独特の食文化や風習があるので、それを伝えていければと思っています。これからよろしくお願いします。

【03】教育実習生紹介

■ OFIXインターン プリシリア マハラニ

初めまして、インドネシアからまいりましたプリシリア マハラニと申します。よろしくお願いたします。幼い頃から日本の文化が好きで、どうしても日本で学びたいと思い、日本の大学に行くことにしました。私はインドネシアの高校を卒業し、一年半明德義塾高等学校で勉強し、卒業後高知大学の「土佐さきがけプログラム国際人材育成コース」に入學し現在3年生です。

日本での大学生活ではいろいろ感じました。楽しい時もあり、もちろん苦しい時もありました。大学で一人だけのインドネシア人留学生として自分の気持ちがなかなか伝わらない時もあり、苦しい思いをしたりしましたが、たくさんの優しい日本人の友人に囲まれてサークルやイベントに参加したおかげで寂しさや苦しさをだんだん感じなくなってきました。しかし、同じ母国語で話さないとやはり気持ちを伝えきれないときもあり、それは少し辛かったです。

インドネシアでは、日本の文化（日本語・アニメ・和食など）がすごく人気があるため、日本語を勉強したり、日本に留学したりするインドネシア人学生が多いです。インドネシアと日本の関係をもっと深くすることが私の夢のひとつです。インドネシアが日本だけではなく、他の国との友好関係も広がったらいいなと思っています。このようなことに、自分自身も実際にかかわっていきたいと思います。

OFIXでいろいろな国の文化の知識を増やすためだけではなく、日本に住んでいるインドネシア人の悩みを聞いて、助けたり、サポートしてあげたいです。もちろん、自分にとってのいい経験にしていきたいと思っています。

【04】大阪府外国人情報コーナー

■ 平成26年度 相談員・通訳者スキルアップ研修について

外国人住民が抱える問題が多様化、複雑化するなか、相談に対応するには多岐にわたる専門的な知識が必要となります。当財団や市、国際交流協会に既に相談員、通訳者として活躍している皆様に集まっていただき、より外国人相談者に対して有益な相談業務ができるよう、6月2日（月）、3日（火）の2日間、スキルアップ研修を開催しました。市や国際交流協会の外国人相談窓口担当者及び通訳者の合計35名が参加しました。

研修では、相談の案件として多い、「社会保障」「女性の問題」「年金」の3項目を学びました。また、相談通訳というテーマで実際の相談時で行う通訳業務に関するディスカッションを第1日目に、2日目はロールプレイを実施しました。

参加者からは、「年金の仕組みが分かりやすく説明されてよかった」「女性相談の際の心構えを学ぶことができた」というようなご意見が寄せられました。

【大阪府外国人情報コーナー】

対応時間 : 9時から17時30分（月曜から金曜）
相談直通電話 : 06-6941-2297
対応言語 : 英語、韓国・朝鮮語、中国語
ポルトガル語、スペイン語、タイ語
フィリピン語、ベトナム語、日本語

【05】市町村国際交流協会コーナー

■ とんばの風 - (特活) とんだばやし国際交流協会

とんだばやし国際交流協会理事 金 和子
富田林市は、金剛山にほど近い人口約12万人、外国籍市民が950人ほどの市です。2002年に設立された当協会は、多くはないがゆえに声になりにくい外国人市民の「ちいさな“つぶやき”に耳を傾ける」ことをたいせつにして事業を行ってきました。

現在、月～金まで開いている日本語教室は技能実習生や子どもを連れてお母さんなど幅広い学習者が参加し、“つぶやき”に出会う現場になっています。また生活支援として相談支援事業を行っていますが、内容の多様化に伴い専門機関に繋ぐケースが増えてきました。災害時の対応も視野に入れ、様々な機関との連携が今後ますます必要になると考えています。もうひとつの大きな取組みが外国にルーツを持つ子ども達へのサポート事業です。市教委、学校、当協会などの多文化共生ネットでサマースクール、キャンプなどを開催して、少数点在する子どもたちが自分のルーツを肯定し仲間づくりできる場を提供しています。また、この間成長して高校生以上になった子ども達への取り組みも中長期的に考えたいと思っています。2009年に策定された「富田林市多文化共生推進指針」に基づき、市と協働しながら協会が担うべき事業を今年度も継続して進めていきたいと思っております。

【06】JICAボランティア活動報告

■ 世界で活躍する大阪人 青年海外協力隊（平成23年度3次隊、ベナン、青少年活動） 三条 知奈美

【街がきらきら輝いている…！】

2012年1月、もう日付が変わろうかという時間に空から見た西アフリカ、ベナンの夜景は、電灯や車のライトがひしめき、とてもきれいでした。大自然や貧困といったイメージは一転。多種多様な民族がともに暮らし、車やバイクが行き交い、笑顔の子どもたちが走り回る…初めてのアフリカで目にしたのは、そんな活気あふれる街並みでした。「世界中の子どもたちに、教員として関わりたい。」その夢への第一歩として参加した青年海外協力隊。実際に見て、聞いて、感じて、ベナンの教育について知りたいという思いもありました。ここで、私の活動拠点であった学校とベナン料理について紹介します。

【1学級80人?!～元気いっぱい学び舎～】

2008年から初等教育が無償になったベナン。1学級の人数に制限がないので、50～60人の学級も少なくありません。教員や教室、教材の不足は否めませんが、たくさん子どもたちが学校に通っています。学校では公用語であるフランス語で勉強します。授業は月曜日から金曜日まで8時～12時半と15時～17時。「算数」や「フランス語」の授業が優先されがちで、私が関わっていた「体育」はまだ実施率が低いですが、みんなが大好きな教科です。陸上大会や、ミニ運動会もしました。

【まるでお餅!～ベナンのごはん～】

ベナンの主食はトウモロコシの粉をお湯で練った「パット」やごはん、豆です。これらにピリ辛のトマトソースをかけていただきます。ソースには、日本でお馴染みのオクラや、モロヘイヤなどをすりつぶして入れたりもします。北部でよく採れるヤム芋は、蒸かしてから臼に入れて4人がかりでつきます。お餅のような食感の「イニヤムピレ」のできあがり。こちらはピーナッツソースと一緒にいただきます。

